

講師プロフィール

中桐万里子(なかぎりまりこ)氏

二宮金次郎(尊徳)より七代目の子孫。
慶應義塾大学環境情報学部を卒業後、京都大学大学院教育学研究科を修了。
教育学博士。専門は臨床教育学。
京都大学研究員や関西学院大学講師を経て、現在は、親子をつなぐ学びのスペース「リレイト」代表。
他にも全国での講演会や企業研修での講師をつとめ、国際二宮尊徳思想学会常務理事、大日本報徳社参事なども兼務。
著書に『二宮金次郎の幸福論』『二宮金次郎に学ぶ生き方』など

会場:水巻町中央公民館



二宮尊徳(金次郎)について

幼少時に川の氾濫により先祖代々の田畑を失い、16歳までに父・母を亡くし苦学した。その後、努力により生家を復旧。その手腕を買われ各藩の財政立て直しを依頼され、見事に成功させた人である。その思想は現在も農業・経営の規範として各方面で見直されている。

二宮金次郎が農村復興・藩財政の立て直しを行う上で基本とした考え方

勤労

積小為大(小さいことを積み重ねて大きな結果を為す)という考えを元に自分で定めた目標に向かって行くためには小さな事から怠らずそれに向けて、慎ましく努めなければいけないということ。

分度

収入に見合った限度を定めそれに応じた支出の限度額を計画的に定めていくこと。ただ節約・倹約を唱えても実効はあがらないので、どう節約・倹約をするか過去にさかのぼり具体的な実行目標を数字で示してその後の努力目標とすることが大切だという考え方。

推譲

分度により努力して残った余剰分を困窮している人々などに見返りを求める事なく分け与えること。

金次郎の教え

勤儉力行

仕事に励み、つつましくかに倹約して精一杯努力し物事を行うこと。

積小為大

小さなことからコツコツと励み続けることがやがて大きく実を結ぶ。

至誠

この上なく誠実なこと。まごころをもってあたれば何事も報われる。

下の欄にご記入の上、このまま FAX か郵送、または水巻町商工会までご持参ください。 **FAX. 093-202-9699**

講演会申込書

氏名

電話番号

住所

参加者数

名

※申込書を提出していない方でも当日空席がある場合は入場できます。※記入頂いた個人情報は、本講演会の実施運営のみ利用させていただきます。